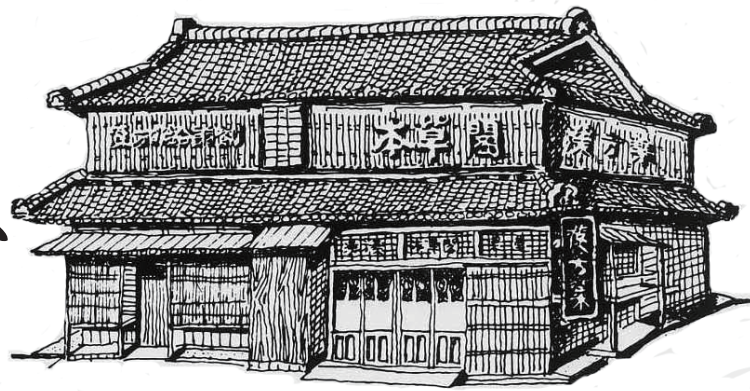


本草閣 かわら版

第 89 号

平成18年 3月15日発行

和薬・漢方の本草閣 本店
〒460-0012
名古屋市中区千代田5-21-17 (JR鶴舞駅西)
TEL (052)241-3388 FAX (052)241-3443
営業時間 10:00~19:00
定休日 日曜 (祝日は営業)
〈各薬剤師・定休曜日〉
火一矢吹 水一渡辺 木一林 金一早川
JR中央線・地下鉄 鶴舞駅下車
E-Mail kanpou@honsoukaku.co.jp
HP <http://www.honsoukaku.co.jp/>



和薬・漢方の本草閣 緑店
〒458-0016
名古屋市緑区上旭1-622 (滝の水公園西)
TEL (052)899-0221 FAX (052)899-0236
営業時間 10:00~19:00
定休日 日・木曜 (祝日は営業)
・名鉄バス 鳴海駅より 滝ノ水口 下車
・地下鉄 野並駅より 市バス (大清水行・太子行)
滝ノ水公園下車
E-mail midori@honsoukaku.co.jp
* H18年 1月より、祝日も営業しております。

～民間薬よもやま話～

第37回 クミスクチン:シソ科

クミスクチンは、「ウコン」「グアバ」と並ぶ沖縄三大薬草の一つです。

沖縄では昔からクミスクチンの葉や茎を薬草として、お茶代わりに飲まれてきました。

古くからは世界各国でその高い薬効が認められており、ドイツでは腎臓の薬として、オランダやフランス、スイスなどでも利尿薬として扱われております。

クミスクチンはシソ科の多年草で中国南部やインド、東南アジア、オーストラリア北部に広く分布し、日本でも沖縄や温室で栽培されています。

クミスクチンはマレー語で「猫のひげ」という意味で、長いオシベが猫のヒゲに似ていることから、そう呼ばれるようになりました。

クミスクチンに含まれているポリフェノールの一種であるロズマリン酸には、免疫機能を正常に戻す働きがあり、花粉症などのアレルギー疾患、ニキビ、皮膚のテカりを軽減する物質として近年、注目されています。



クミスクチン

花粉症・アレルギー性鼻炎は漢方で楽になります。



症状: クシャミ・鼻水・鼻閉・目の痒み・のどもとのイガイガ感・咳・等の症状は全て花粉症・アレルギー性鼻炎の症状です。

症状が出る物: 温度差・ホコリ・タバコの煙・風・花粉・匂い・等

時間帯: 症状の出る時間帯は、朝起きた時・風呂上り・テレビを見ている(じっとしている時)に症状が出やすい。

天気: 雨の日は割と軽いが、天気のいい風のある日が症状ひどい

症状が出ない時: 風呂に入っている時・汗をかいて身体を動かしている時
温かい食事を摂っている時

職業: デスクワークなど座ったまま仕事をする人に多く、身体を動かす仕事の方は少ない。

漢方的原因: 1.身体を動かすことが少ない。
2.汗を十分にかかない。

3.冷たい飲物・食べ物が多い。

4.甘い物・肉・卵・乳製品が多い。

このため血液が濃くなりかけている。

この為鼻・喉・目の粘膜が敏感になり少々の刺激(温度差・ホコリ・タバコ・風・花粉・等)にて反応するとクシャミ・鼻水・鼻閉・目の痒み・喉の違和感・等の症状になる。

対策: 1.温かい食事・飲物を摂る。

2.身体を動かし(運動・仕事・散歩)汗をかく。

3.風呂には一日一回以上入って温める。

4.本人に合った漢方薬を服用する。

5.青汁で血液をサラサラにする。

漢方薬で花粉症・アレルギー性鼻炎は楽になります。

体質がそれぞれ違います、和薬・漢方の薬剤師に声をかけて下さい。

